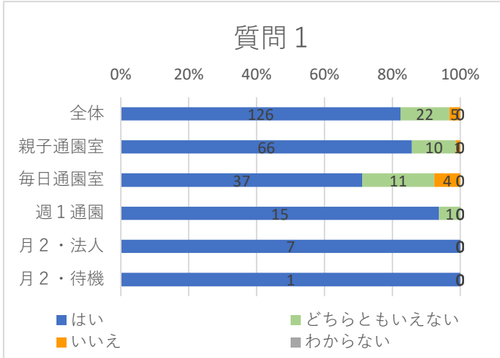
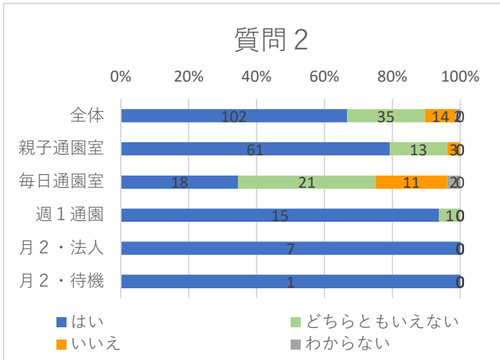
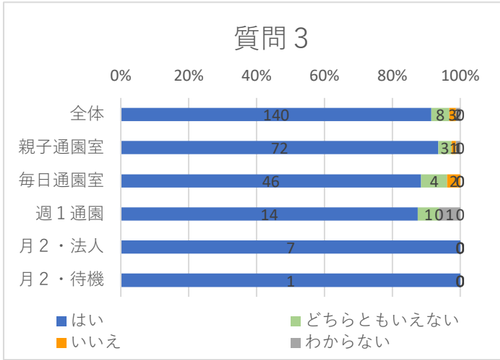
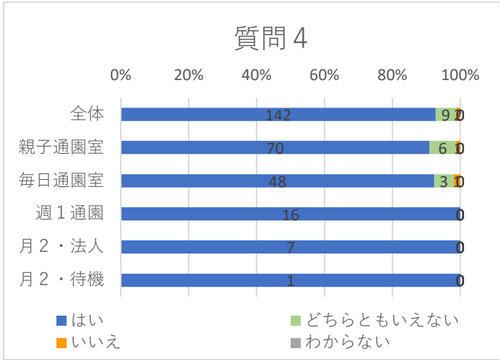
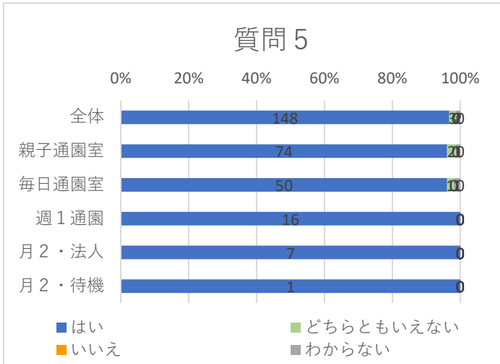
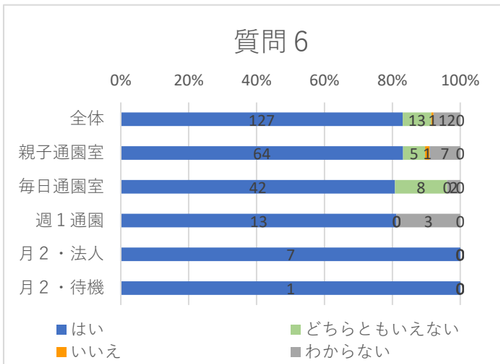
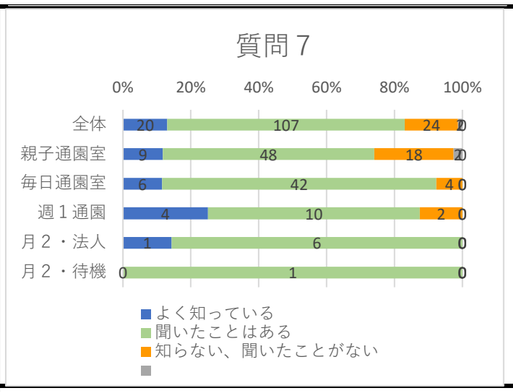
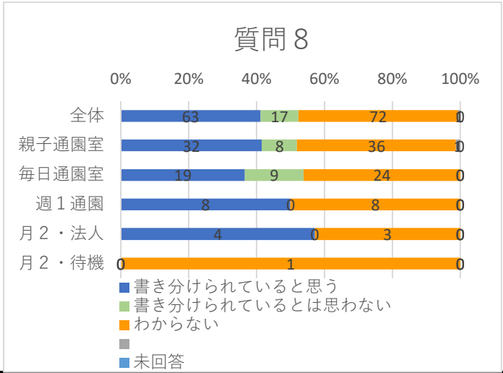
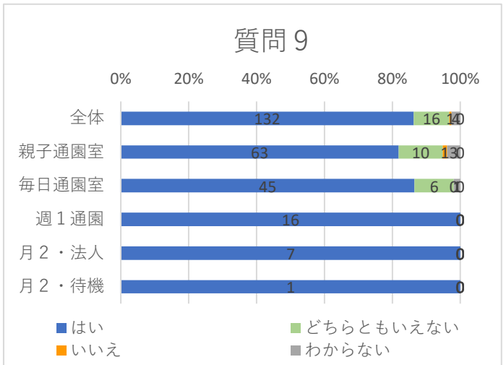
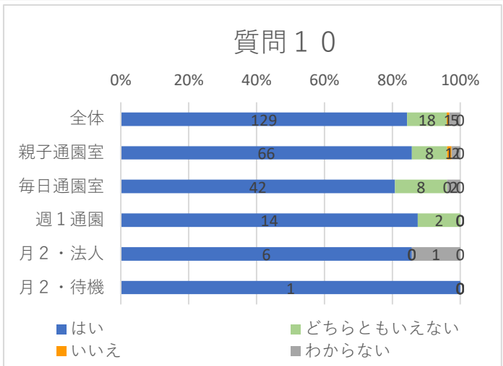
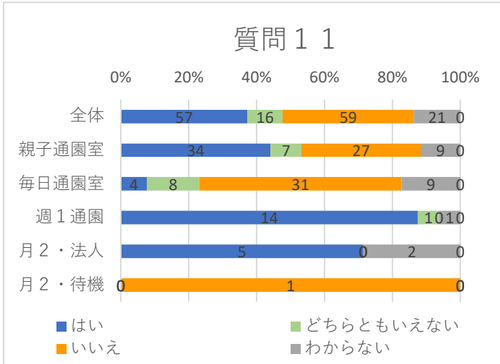
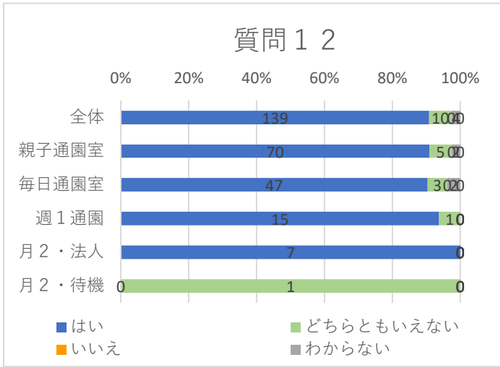
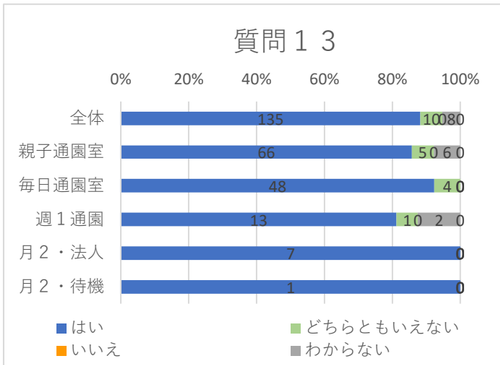
2021年度　児童発達支援ガイドラインに基づく自己評価（保護者評価）結果の公表について

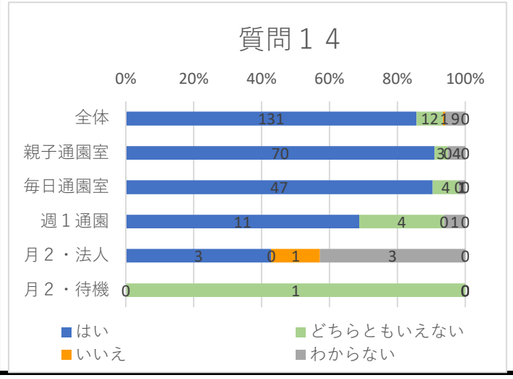
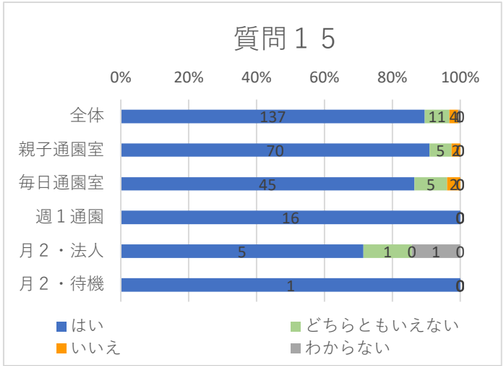
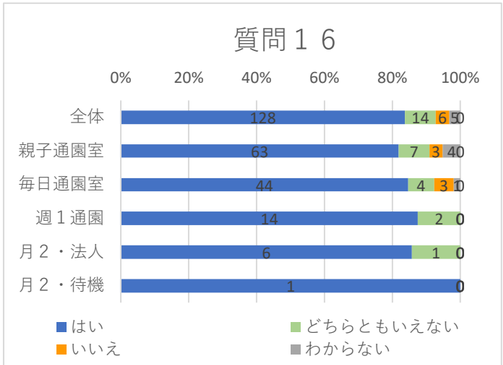
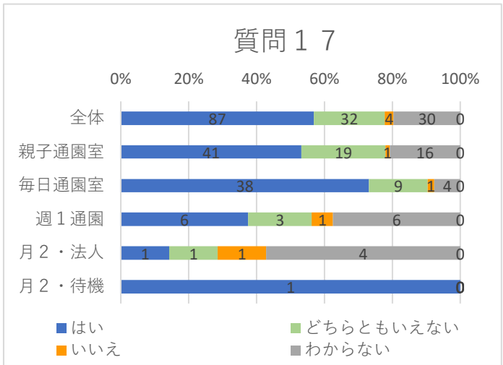
実施期間：2021年11月　対象者数：216名　　回答者数：153名　　回答率：70.8%　　※8/1時点で在籍していなかった方は対象から除　　2022/2/28

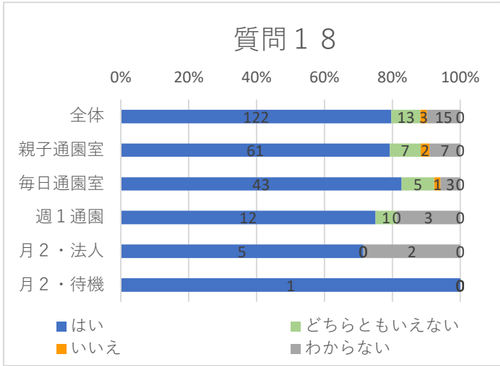
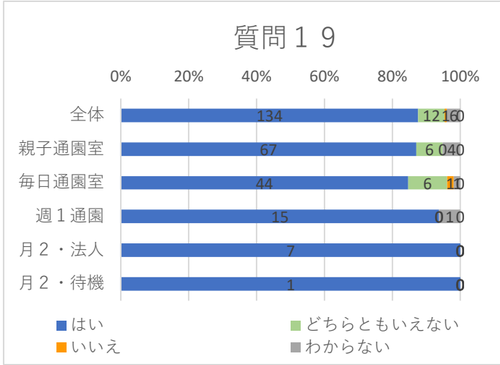
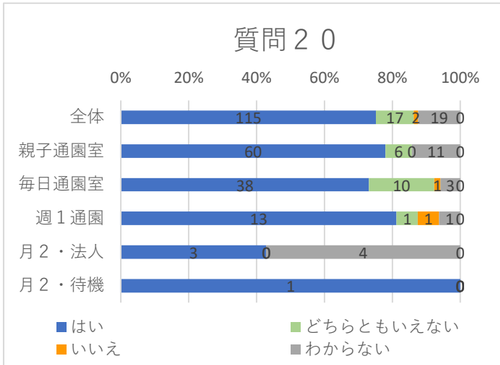
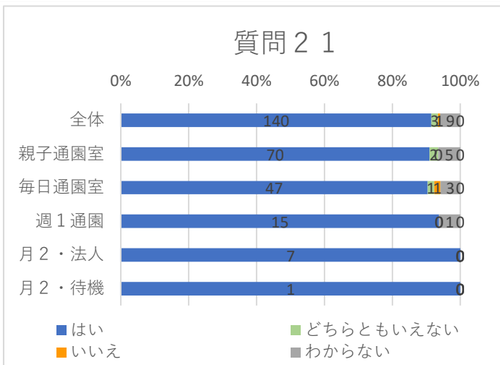
	保護者評価		ご意見	ご意見を踏まえた対応
	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか		部屋の大きさに対して、子どもの人数が多い気がします。ケガに繋がる場面も多いかと思います。 感染対策として、食事の際のアクリル板を設置して欲しい 狭い 活動スペースとは違いますが、保護者用の駐輪場、駐車場が明らかに不足していると思います。 いつもマイペースなので伸びる事そんなに気づくのが 人数に対してスペースが狭い ホール活動や園庭活動はスペースが十分ではない気がする。 多少教室での移動の際狭く感じる時もあるがしっかり活動スペースはあると思う	・物理的状況は変えることができませんが、動線を意識したり、お子さんにとってのわかりやすさなどを意識すること、構造化など、発達支援の視点でできることを引き続き行っていきます。 ・園庭、駐輪場や駐車場につきましては、限られた施設面積での取り組みとなる点、ご理解とご協力をお願い申し上げます。駐輪スペースにつきましては、駐輪場所がわかりやすくなるよう床に枠を描きました。 ・感染対策につきましては、引き続き、診療所とも相談をしながら進めていきます。
	職員の配置数や専門性は適切ですか		STが少ない 昨年と比べ、子どもの怪我が多いです。聞いても「わからない」と言われることが多い。 職員が少ないので仕方ないとはいえ不安である。 子供の状態や先生の配置によってご負担が大きいと感じることがあります 先生方ひとりひとりの負担を減らすために、もしできるのであれば先生の人数を増やした方がいいのかなと思います。 新人の先生が担当になった場合、一定のペースで指導担当の方などフォローに入ってほしい 個別療育回数を増やして欲しいです。 配置数はもう少し多い方がいい 専門性の高い先生とそうでいらっしゃらない先生の差があるので、担当になった先生によって満足度がかなり違います。 今年は先生方の退職などでの入れ替えが目立ちました。 時間によっては3人以下の時がある もう1人先生がいるとより誰かがパニック等起こした時に他の子供たちにも目が行き届く気がします。 子供の数に対して、職員の数が少ないと感じることがあります。 人手が足りず、新しく入ったばかりの先生も多いので、先生方に余裕がない印象です。 職員の数が少なく感じます 朝のバスの時間は先生方の人数が少ないように感じます。 グループ活動では、もっと先生がいた方が良い。 職員の数が足りず、放置状態になってしまっている児童が見られます。また、言うことを聞いてくれない生徒に対して先生がイライラしている様子が見受けられました。 年度途中で担任が何回も変わるのは正直不安な気持ちになりました。 サブの先生が頼りない 1クラス3人では先生達も若干余裕がなさそうな様に見受けられる。もう1人位増やした方が先生方により余裕もできるのでは？ 個別の担当の先生が途中で変更となったが、可能なら一年を通して同じ先生だと有難いです。親は良いが、子供達にとっては少なからず何らかの影響はあると思います。 ない 明らかに足りてないと思う グループのほうは、先生の数に対し子供の数が多いと感じます。 毎日通園室は職員の入れ替わりが多く、子どもの人数に対して大人が足りない。 専門性に偏りがある。 子供の人数に対して職員の人数が足りていないようで目が行き届いてない場面があり心配になります 日程を振り替えられるシステムがあると良いです ホール活動や園庭活動の際、職員の数が足りない気がする。 活動に参加させるために走っている子の腕をひっぱって無理矢理止めさせる職員を見かけた。 脱臼の恐れもあるし、適切な対応とはいえないのではないかと思った。 また言葉遣いがきついなと感じることもある。子ども相手ではなく、大人(職員の友達のよう)に対して指摘している(怒っている)ような感じで接していることがあり、直してほしいと思う。 職員1人に子1人になることがあるので、職員が足りない。 グループの時に、先生がもう1～2人いてくださるとありがたいです。	・配置や専門性について、評価いただいた部分と不十分というご指摘があります。職員一人一人の支援力の向上に向け、全園をあげ、引き続き取り組んでいきます。 ・職員配置については、法律で定められている以上の人員を配置しています。さらなる支援の充実を目指し、コンサルテーションやスーパーバイズの実施、園内外の研修など、色々な方法で支援力の向上を目指しています。 ・年度途中での担任や担当者の変更につきましては、お子さんやご家族が不安に思ったという意見が少なからずありました。申し訳ありませんでした。職員体制の都合で、変更が余儀なくされることはありますが、引継ぎなどを引き続き丁寧に行い、一貫性のある支援が行われることで、お子さんやご家族の不安がなるべく少なくできるようにしていきます。 ・職員に余裕がなく感じた、イライラしている様子が見受けられたというご意見につきましては、書きにくいことをお伝えいただきありがとうございます。より適切な支援に向け、支援力の向上に努めます。なお、気になることがあった場合には、遠慮なく職員や室長、部長などにご連絡ください。 ・これまでのご意見を踏まえ、2022年度、毎日通園室の定員を60名に変更します。

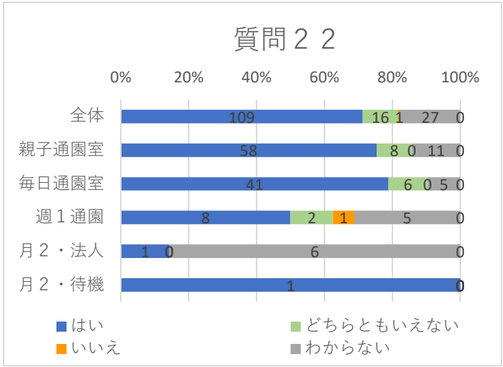
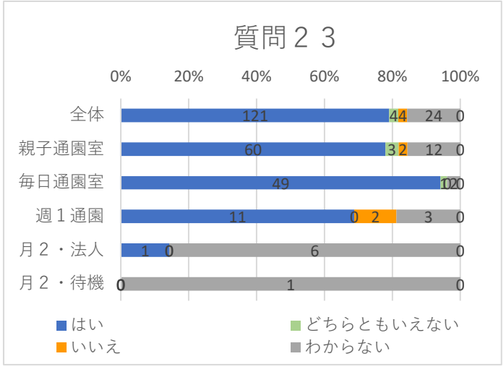
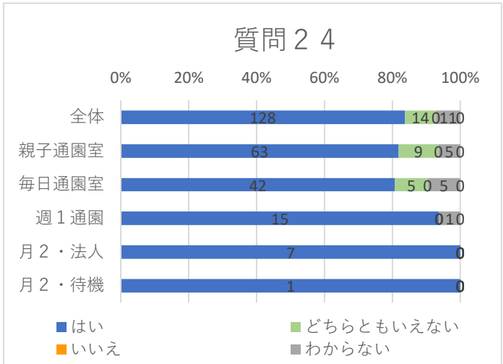
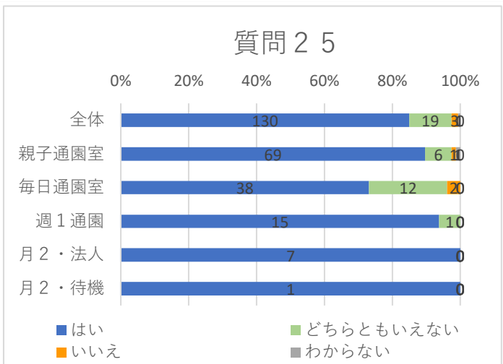
	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか ★「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。		朝のお支度をするとき、スペースが狭いため後から来るお友達を気にして、つい急かしてしまうことが多いです。例えば、おはようブック？にシールを貼るとき、作業スペースが広ければ複数人同時にできて、本人のペースで出来るのかなと思います。また、先生によって手洗いが先なのか、お食事袋を出すのが先なのか、指示が異なることがあるので、『朝のお支度』の内容の明文化、視覚化もあると、大人も子どもも気持ち良いのかなと思いました。 視覚優位なので、園庭遊びの掲示が間違った内容のままだと、親子で不思議に思う 夏～秋にかけて頻繁にあった 子供は意外と理由もよく見ています 子供達が見て分かるツールがもっとあった方が良い ない 待ち合い室の本棚は子どもにとってわかりやすいものではない。 狭いので構造化しきれていない 教室の中の配置は非常に子供たちに分かりやすいと思う。 教室内は配置もわかりやすく、写真や絵などを使って今日の予定もわかるので子供もわかりやすいようです。	・モンテッソーリ法をベースとする学園の理念に基づいて、生活空間の整備や構造化を行いたいと考えています。環境をわかりやすくすることは、子どもたちが主体的に活動することや、理解したうえで行動することにもつながると考えます。今回、そのスペースの広さ、伝達内容や伝達方法など、色々とご意見をいただきました。子どもたちへのわかりやすさや伝えている内容など、日々の取り組みについて今一度見直しを行い、子どもたちの「わかった！」や「やってみよう」につながる環境づくりや工夫を行いたいと思います。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか		トイレの清潔さを向上させてほしい。 （隅のほうにほこりや髪の毛がいつもたまっています） くしゃみをしたときや鼻水が垂れているとき、子どもがそのままにしていることが多いので、ティッシュ箱などを多く設置していただけると、自身で拭く習慣がつくのかなと思いました。 おトイレが少し汚いことが多いです。お互い気をつけたいと思います。 床の髪の毛などが少し気になる 玄関やホール等はあまりキレイとは言えない 子供の特性に合わせたおもちゃを用意してくれている。 カーテンが汚い いつも清掃の方が館内を清掃してくださりありがたいです。 ない	・今回の評価で、特にトイレの清掃についてのご意見を多くいただきました。清掃スタッフやサービス管理部だけでなく、職員一人一人が心がけを行い、気持ちよく使っていただけるようにいたします。建物の構造上、玄関が園庭の出入り場所にもなっています。子どもたちの移動に伴って、園庭の砂が玄関に多く落ちていることもあります。玄関や下駄箱近辺についても、定期的な清掃は行っておりますが、園内の汚れにつきまして、何か気になることがあった時には、職員にお声掛けください。
	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか ★「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。		前年度よりも個別指導の学習レベルが下がった気がする 担当の先生は子供の特性をとても理解してくださっていて、本人も楽しみながら療育に通えています。 毎回一緒に考えてくださってとてもわかりやすい。 他の事業所にも通っているのですが、それぞれの方針や対策が違うことにより子供が混乱してしまうのではないかと思うことがあります。難しいのはわかりますが、それぞれの事業所の得意分野などを生かしつつ、連携した療育ができると嬉しいです。 欲を言えば、言語としての手話に理解のある先生が増えるとありがたいです。（手話＝SignではなくSignLanguageとしての認識） ない きめ細やかです しっかりどうしたいか、課題はクリアしたかどうかなどをこちらに確認し、アドバイスももらいながら作ってもらっている。	・個別支援計画については、概ね満足していただいている結果となっています。 ・ご家庭と学園で一緒に確認をしながら作成する個別支援計画ですが、色々な生活場面（併用機関、他の児童発達支援事業所など）も含め、お子さんの全体的な過ごしや育ち全般にわたる支援に向けた計画作成となるよう心掛けていきます。作成した個別支援計画に基づいて取り組んだり、必要に応じた地域連携を引き続き行っていきます。
	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか		的確、なおかつ丁寧で絶大な信頼があります。 ない 地域支援についてはよく分からない	・おおむね評価していただきました。ただ、まだ2割くらいの方から「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」という回答をいただいています。より具体的に、取り組む内容がわかるような起債にしていきます。

	児童発達支援ガイドラインについてご存知ですか？		回答無し	・「よく知っている」方もいらっしゃるようですが、「聞いたことがある」「知らない・聞いたことがない」保護者の方が圧倒的に多い結果となっています。児童発達支援ガイドラインは、学園で行う支援の指針ともいえるものです。保護者の皆様にも、よく知っていただけるよう、努めていきます。
	個別支援計画の中で「発達支援」「家族支援」「地域支援（地域連携）」が書き分けられていると思いますか？		家族支援、地域連携については書かれているか分かりません 親子通園だと、幼稚園や保育園に通っている子がほとんどなので、年1で良いから、 学園の方から訪問など積極的に行ってほしい こちらからはタイミングなどよく分からないので、言いにくい こちらが希望する支援内容に該当がないだけかもしれないが、家族支援、地域支援に当たる内容を見たことがないので、例えばどのようなことが該当するかしりたい。 ない	・この項目については、その回答から「地域支援」や「家族支援」について十分ご家族にお伝えできていないことが考えられます。個別支援計画作成時や説明時に、改めて、家族支援や地域支援についても丁寧な説明を行っていきます。 ・お子さんが利用している保育園や幼稚園、こども園、児童発達支援事業所は、併用機関として、一緒にお子さんのことを考えながら育ちを支えていきたいと考えています。電話での連絡や職員の訪問、発達検査や個別支援計画など紙面でのやり取りなど、お子さんの状況や必要性に合わせた併用機関連携を行っています。もちろん、保護者の方の了解を得た上での情報共有となります。利用している併用機関から学園の療育の見学に来ていただくことについても積極的に行っています。
	個別支援計画に沿った支援が行われていますか		グループ、個別担当でもう少し連携をとって頂けたらと思う 姉の時の方が連携があった とても素晴らしい計画を立てて頂いておりますが、教員の数が足りてないため、その計画を実行するための行為、行動があまり進んでいない部分があるように思います。 とても親切で療育というか、子どもだけではなく保護者にもわかりやすく目標を立ててくれる。 ない クラスではやりきれていない 丁寧に支援、説明を行ってくれている。	・回答としては多くの方から「はい」というお答えをいただきましたが、寄せられているご意見の中には、職員間の連携不足についての意見や、計画されていることの実際の支援に差があることのご指摘をいただきました。学園の支援で大事にしている取り組みの1つに「チームアプローチ」があります。個別支援計画で実施を予定している発達支援等の実践に向け、職員やご家族と一緒に考えながら進めていければと考えています。支援力の向上につきましては、引き続き取り組んでいきます。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫され　ていますか ★「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。		色々なクラスの子と関わらせて頂いたり、お製作や音楽活動など、楽しいものをたくさん考えてくださり、とても感謝しております。 月毎のプログラムで構いませんが、 週毎にも1つ大きな変化があると、自己適用力なども毎週重ねることで、身につくと思う 本当に我が子のことを書いてくださっているのがわかる。 ない 個別はとても良く考えられているが、クラスで個々の活動はねらいが達成できるようにはやりきれていない	・活動のプログラムは、お子さんの発達特性や年齢、それぞれのグループなどの目標に添いながら計画しています。学園独自で検討を進めている「発達支援課程」なども参考にしています。活動プログラムの意味や意図について、これからも丁寧な説明を行っていきます。

	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか		コロナ禍でインテグレーションの交流が写真のみのやり取りになってしまいとても残念です。緊急事態宣言が出ている時以外の時には直接関わって遊んだり、一緒に活動出来るようになると良いと思います。 コロナ禍なので、仕方ない 交流が早くできるようにしてほしい 実際に幼稚園に通っている為交流がある インテグレーションが中止されて2年、なかなか障害のない子と交流する機会がないままの卒園で、残念に思います。 コロナ禍なので仕方ないと思いますが、コロナが落ち着いたら、障害のないお子さんたちと沢山交流出来る場があると良いと思います。 コロナ禍なので仕方ないです。 コロナ禍の真っ只中なので仕方がない コロナが落ち着いてきているので、ぜひそういう機会を用意してほしいと思います。 コロナで実施されてないようです。 インテグレーションに参加させたかったです。 コロナだからだと思うが障がいがない子供との接点はないです。 コロナ禍なので交流できないのは残念ですが仕方ないと思う コロナ禍なので交流自体が難しいと思う コロナの為交流などの行事は中止 ない コロナなので、交流の機会は無くても仕方ないと思います。 コロナ禍ということもあって、交流など難しいとは思いますが、何か対策を考えつつ、交流の場があるといいなと思っています コロナが落ち着いたらぜひ交流を再開してほしい。 感染症対策のため行なっていないため。 是非機会を設けたいと思っているが出来ていない。うめだこどもの家との交流があるといいと思っています。 コロナ禍で機会が減ってしまい、残念だと思う。	・新型コロナ感染症の影響により、学園が最も大切にしてきた活動の1つである毎日通園室のインテグレーションが行えていません。親子通園室も、感染予防の観点から、同じ曜日の他のグループとの交流の機会を設けることが出ませんでした。コロナ禍でインテグレーションの実施やグループ間の交流ができないことで、「共に育ちあう」「共に育ちを喜び合う」ことが難しい状況に、私たち職員もとても残念に思っています。 ・このような状況が続いていますが、学園とうめだ「子供の家」は、インテグレーションの検討を続けています。詳細が決まった時には、改めてご報告いたします。
	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか		回答無し	・おおむね評価していただきました。今後も、掲示板、実績記録票への確認時・窓口での請求書手渡し時、モニターの情報掲示など色々な方法で、運営規定や利用者負担等についてのご連絡や説明を丁寧に行っていきます。
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされていますか		回答無し	・おおむね評価していただいています。より多くの皆さんに「はい」とお答えいただけるよう、児童発達支援ガイドラインや個別支援計画に基づいた支援の提供や説明を行っていきます。

	保護者に対して家族支援プログラムが行われていますか ★うめだ・あけぼの学園では、家族支援のプログラムとして、あけぼの広場や就学に関して等の学習会の開催、遠足・保護者の集い等の行事開催、保護者の時間や懇談会等の話し合いの場の設置などをプログラムとして位置付けています。なお、他の施設では、「ペアレント・トレーニング」などに取り組まれていて、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、こどもが適切な行動を獲得することを目標とします。		学園で開催されているプログラムになかなか参加できなかった。 就労している保護者のために土曜開催や録画の視聴を行ってもらえると参加しやすい 参加できずでしたが、グループの時間に設けてくださって、有難かった あけぼのに入園前に比べて、あけぼののアドバイスで、家族全体が生きやすくなった。 ない あけぼの広場等のお知らせを早めに頂けると助かります。また、見逃し配信などの措置が、コロナ禍が収まってからも続いてほしいです。 コロナ禍でなければ、普段の学園での子供たちの様子を見る機会を増やして欲しいところです。	・おおむね評価していただきました。うめだ・あけぼの学園だからこそできる、家族支援プログラムを、引き続き企画していきます。「こんな話を聞きたい」「こんな講座を企画してほしい」など、保護者の皆様からの声もお待ちしています。 ・家族支援プログラムの参加の形については、色々なご意見をいただきました。次年度以降の企画に際し、参考にさせていただきます。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか		直接話す時間が少ない そして子供も大人が話すのを嫌がり話せない メールなどでは対応して頂いています 丁寧で信頼があるので話したくなる。聞いてほしくなるほど！ 室長や個別の先生には相談ができるが、担任とはあまりできない。 送迎時や個別のタイミングなどで様子を教えてくれます。 とても理解していただいています 大丈夫	・お子さんについて、ご家族と職員との共通理解という点では高く評価いただきましたが、「話す時間が少ない」「担任とはあまり話すことができない」というご意見も頂戴しました。これまでには職員の様子にいて「忙しそうで声をかけにくい」といったご意見をいただいたこともありました。療育中にはお話しする時間は設けられないかもしれませんが、改めて日時などを調整した面談などの設定は可能ですので、遠慮せず、職員に声をかけてください。一緒にお子さんのことをお話しさせていただくことの中に、発達支援や子育てのヒントがたくさんあると考えています。よろしくお願いいたします。
	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか		担任との個人面談が少ない 個別が担任の先生だと相談しやすいが、面談は定期的ではなく希望者のみ。 グループでの機会が減ったと感じる 発達支援計画の時期が過ぎているが連絡がないです 毎回個別療育の時間に少しでも話せるので安心できる。常に近い存在でいてくれている。 進路相談に丁寧に対応してもらいました。 保護者が希望する場合に面談が行われているので、定期的な面談があるとよいと思う。 良く勉強になりました 困った時はしっかり相談に乗って下さっています 個別やグループの中では話せている。	・わずかですが【質問15】よりも「はい」とお答えいただいた方が少ないようです。面談機会の少なさを感じていたり、助言を得られている実感が持ちにくい方がいらっしゃるようです。 ・うめだ・あけぼの学園では、通園するすべてのお子さんに個別療育を提供しています。個別療育は、お子さんへの支援の機会だけでなく、ご家族への支援や相談の機会と位置付けています。 ・個別療育の機会の他に、面談機会を設定しています。日々の生活、家での過ごし、進路選択、併用機関での過ごし、子育てや家族のことなど、「話がしたいな」と思ったときには、是非、職員に声をかけてください。【質問15】にも記載のとおり、声をかけていただいたタイミングですぐにお話しすることは難しいこともありますが、改めてスケジュールを調整するなどして、ご家族とお話しする機会を設けていきます。内容によっては、相談支援センターの相談支援専門員が面談を行うことも可能です。
	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか		父母の会の活動はもう少し縮小させて良いと思います。（仕事を持っていたり、幼稚園や保育園と兼園していると（リーダーになると特に）負担に感じます。 コロナ禍ということで、以前と比べれば少なくなっていると感じます 父母の会については、一部の保護者に負担がかかりすぎる コロナがなので 先日行われた保護者懇談会で教員の方が居眠りしていたのがとても悲しかったです。 ほとんど交流がない。 ない 父母会の活動は大変だと思っていましたが、それによって親同士が親睦を深められたので、良かったと思います。 今の現状では難しい。 親子通園室からも父母の会の役員を選出するのは負担があると思います。共働き家庭もあるので。 コロナ禍なので仕方ないと思うが、やはりなかなか他のクラスの保護者の方々等交流がもっと沢山持てる機会があると嬉しい	・保護者の方同士の交流は、学園設立時より、家族支援の観点から非常に重要であると考えてきています。支援の必要な子どもを育てる仲間としての「ピア」、支援の必要な子どもを育てた経験者である「ペアレントメンター」など、保護者の方たちの持つ力が、相互作用によって、エンパワメントされることを期待しています。 ・父母の会、おやじの会など、保護者の方の自発的な活動については、これからも協力・支援体制を取っていきます。

	子どもや保護者からの相談や申入れについ　て、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか		子供の為に例外措置も取ってくれて非常に感謝しています。 〇〇先生にはいつも素早く対応して頂いてます 室長や発達支援部部長にはとてもよく対応していただいている 相談等に適切に対応してくれてとてもありがたいです。 わかりやすいです 内容によるが今現在は満足しています。	・おおむね評価していただきました。引き続き、お子さんやご家族からの相談の申し入れがあった際に、迅速かつ適切に対応できるよう、職員育成や支援力のさらなる向上に努めていきます。
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか		遊び個別やOTの日程はあらかじめ決まっているが、保護者は忘れてしまうため前日までに伝えてくれるとありがたい。 ない	・「どちらともいえない」「わからない」の回答が多い結果となりました。お答えいただいたお一人お一人の回答の背景にあったエピソードなどはわかりませんが、学園とご家族の間でのやり取りや配慮が十分なされていなかったことがあったとすれば申し訳なかったと思います。 ・コロナに関することだけでなく、色々な情報の伝達ややり取りにつきましては、電話、メール、既定の書式、オンラインでのやり取り、園内掲示や紙面による配布など、色々な方法を活用しながら、タイムリーかつスピーディーに行っていきます。
	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか		行事の提示、決定が遅く、予定がとりづらい ない	・HP、セコムメール、モニター、紙面による情報提供などを活用して、学園ん行事や活動報告、連絡など、タイムリーかつスピーディーにお伝えするよう、心がけていきます。
	個人情報の取扱いに十分注意されていますか		ない	・おおむね評価いただいています。引き続き、職員の理解を促し、個人情報の取り扱い方の周知徹底を行い、日々の取り組みを行っていきます。

	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか		ほぼ出来ている ただ食事での感染対策が甘いと思う とても丁寧で、配慮もすごくなされている。 防犯について不安がある ない	・学園には、防災委員会、BCP検討委員会、衛生献立委員会などが設置されており、各種マニュアルについてはそれぞれ策定し、マニュアルに基づいた訓練や対策の実施を行っています。緊急時や災害時の対策、防犯対応、感染症対応などの検討や職員への対策周知、訓練などが実施されています。 ・学園を利用するお子さんやご家族が安心して安全に過ごせるよう、学園職員や診療所職員、相談支援センター職員も、マニュアルの理解に努め、訓練に参加しています。 ・防犯については、警察の指導を受けながら不審者対応訓練なども実施しています。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか		ない	・日頃より、避難訓練等にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。 ・地震や浸水などの自然災害、火災など、年間計画に基づいた訓練を行っています。年度末に向けては、訓練日時を職員に知らせない「シークレット訓練」も行っています。 ・訓練の回数を重ねていくことで、お子さんたちも職員も、一緒にいるご家族も「いざ」というときに安心して対処できるようになっていくことが期待されます。引き続き、日ごろの訓練を大事にしていきたいと考えています。ご協力をお願い申し上げます。
	子どもは通園を楽しみにしていますか		外遊びが少ないので、室内遊びばかりで飽きている。 通所の環境に慣れていないので泣くことも多いですが、楽しそうにしている時も見えてきました。 ここまで楽しみに行く場所は子どもにとって生まれて初めてなぐらい楽しみにして生き生きしている。 毎日楽しく通っております。 毎回、楽しみにしてます。 たまに行きたくないと言う時もあるが、楽しんで過ごしているようで、何を食べたとか何をしたとか簡単な言葉で教えてくれる時がある。 けっこう人を選ぶ（の）子供だから、気になる（りの）友達はよくわからないです 先生とお友達に会えるのを楽しみにしています 楽しみにしている場合が多いが、最近行き渋りが起こりやすい	・多くの「はい」という評価をいただいていますが、「どちらともいえない」「わからない」の回答もいただきました。より多くのお子さんとご家族に満足して通園していただけるよう、１人1人のお子さんの満足や楽しみにつながる取り組みを心掛けていきます。 ・安心して送りだしていただいたり、療育に来園していただけるよう、お子さんやご家族の声に、耳を傾けていたいと考えております。「行きたがらない」など、お子さんの姿に心配なご様子があるときには是非、職員に声をかけていただければと思います。
	事業所の支援に満足していますか		専門性の高い療育を受ける機会が少ない 一人ではどうにもならない事もたくさん助けて頂いて有り難く思っています。 先生お一人お一人が親身になって下さるので、孤独な子育てにならず、子供と向き合えています。 いつも本当に有難うございます。 ない 親子分離なしで、週2通うのは親の心身がとても疲弊してしまうことがあります。親子通園室でも、初めから週1回のコースを選択できるようになるといいと思います。 また、親がぴったり寄り添うので、特にグループの時間は、子供がその場で問題行動を起こさないように常に神経を張り詰めた状態にもなります。時には、活動を部屋の外やモニター越しに見て、問題行動に対し先生方がどんな対応をするのか客観的に見て冷静に学びたいです。 後は幼稚園とうめだあけぼのとの連携がもう少し密接に取れるといい 担当者が変わって、療育内容、保護者の時間共に非常に満足している	・それぞれの職員が持っている資格や背景となる専門性はそれぞれ違いますが、全ての職員が「発達支援の専門家である」という自覚を持って支援にあたっています。多くの方に「はい」と回答いただいた点は、嬉しい気持ちで受け止めさせていただきます。また、いただいた意見を参考にしながら、さらに、より多くのお子さんとご家族に満足していただける事業所を目指していきたいと考えます。